

# 令和3年度 第1回瑞浪市教育委員会点検評価委員会（要点筆記）

日時：令和3年8月19日（木）13：30～15：49

場所：瑞浪市役所4階 全員協議会室

## 出席者

委員 全員出席（6名）

教育長

事務局 事務局長、教育総務課長、総務係（2名）

説明者 事務局次長、学校教育課長補佐、教育支援係長、教育推進係長、学校給食センター所長、  
社会教育課長、社会教育係長、生涯学習推進係長、教育総務課施設管理係長

司会：教育総務課長

## ◇ 教育長あいさつ

教育委員会の事務の進捗状況等点検評価いただき、その結果の報告書を議会に提出し、公表することになっています。

瑞浪市教育振興計画は5年を単位に前期、後期に分けた10年で計画策定されています。みずなみ教育プランの後期計画ですが、現在、令和6年度からの次期プラン計画の策定のための構想を立てる時期にもなっています。コロナウイルス感染症の影響など急激な社会の変化の中で計画が後追いしているものもあり、現在教育委員会が抱えている課題は、ICT教育の推進、予想を上回る速さで進む少子化に伴う学区の見直しや学校の統合再編、文化センター、市民公園、諸施設の統合再編等様々な大きな課題を抱えています。

コロナ禍により、事業の規模を縮小、延期、中止したものもありますが、できる限り行う方向で進めました。

教育長に就任して2年、笑顔とあいさつ、「思いやりのあるみずなみ教育」、「郷土を知り、郷土を愛し、郷土を誇りに思うみずなみ教育」、「風通しのよいみずなみ教育」の3つの理念を基に進めてきました。

本年度の教育委員会点検評価委員会の結果は、次期策定に向けて、その方向を示すものとして例年以上に大きな意味を持つと捉えています。それぞれ、専門の知見から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

## 1 委嘱状交付

任期：令和3年4月22日から当該年度の点検評価に関する審議が終了した日まで  
委員全員に委嘱状交付。

## 2 自己紹介 委員名簿

### 3 制度の概要説明 事務局

### 4 委員長、委員長職務代理者の選出 委員長：水野昌代氏 副委員長：古田 勉氏

### 5 議 事

#### 令和3年度（2年度事業）みずなみ教育プラン後期計画の施策の評価について

#### 【基本目標1】学校教育課長補佐、教育推進係長、社会教育係長、教育総務課施設管理係長説明

施策1	幼保一体化による就学前教育の充実
委員	ICTだけでなく、他に先生の負担を減らすような良い取組みはないか。
係長	会議の時間を極力短くして、1時間なら1時間と決め、作成するものは、単純にする。園長、主任で、無くせるものはないか検討をしている。
委員	幼保の勤務状況の把握、負担が増えない取組みはあるか。
係長	幼保については、子育て支援課が担当になるが、主任層は遅くまで勤務しているようです。特に勤務シフトを作成することが大変のようで、ICTを含めて軽減できないか考えている。なかなか減らせないのが現状。
委員	子どもに関わる部分が手を抜けないので、業務が大変そうで、それを考慮せずに成果を狙っていくと保育士が潰れてしまうのではないかと心配。小中学校は指導するのにICTを活用することができるが、幼稚園は難しいと思うので、負担を減らすようにしていただきたい。
委員	園だよりは、月に一度程度発行されているか。 連絡帳は毎日ですか。
係長	園によって違うが基本的には月に1回です。 連絡帳は毎日です。
委員	幼保一体化が瑞浪市の1つの特色になっていると思うが効果は。
係長	割合として、保育部の割合がすごく増え、幼稚園としての教育部が少なくなり、保護者からすると、働きやすさが増しているのかなと思われる。教育効果は明言できない。
委員	今後の取組の②ですが、文書が繋がらないので、説明をしていただき、文書の書き直しをしたほうがいい。
係長	保護者に一斉メール配信ができていますので、個別配信や相互でやり取りができるようにし、シフト表の作成を手作業からICTで行うことで負担の軽減ができればと考えている。メール配信をうまく使って保護者との連携につなげないかと考えている。
評価	委員会評価 A

施策 2	確かな学力の育成
委員	読書活動ですが、各学校で読書量を増やすためにどういうことをやっているのか具体的な例を教えてください。
係長	魅力的な図書館になるように、子どもの委員会を使っているいろいろなジャンルの本を紹介したり、キャンペーンというか読書週間に子どもたちがアイデアを出し合いながらより多くの子が読書に親しめるようにしたり、保護者を巻き込んで親子読書をしたりしている。
委員	学校で行うことで読書量は違っているか。
係長	何もしないよりも子どもたちが新しい興味をもてるようにすることが効果につながると思っている。
委員	学力は、瑞浪市は全国平均と比べてどのくらいか。
係長	平均ぐらいですが、全体の結果だけでなく、そこまでに満たない子、力の及ばない子も当然見ていかないといけないと思っている。
委員	授業改善・検証のところをもう少し詳しく教えてください。
係長	困っている子が力をつけるのにはどうしたらいいのかということで、苦手な分野を捉えたり、学び直すならばどこなのかを校内で、確認しあって授業の改善を進めていくことを取り組んでいただくことになる。
委員	図書支援員 2 名の配置はどうなっているか。
係長	5 校、5 校を担当し、全部の学校に行っている。
委員	瑞浪中学校の図書支援員に話を聴いたら、小学校時に担任を通して図書館利用をしっかりされていた結果として、昼休み、図書館に行つて本をよく借りるそうです。担任がいかに図書館を活用するのかということが、後々大事になると思った。
委員	朝読書はどの学校もやっているか。もし進んでいないのであれば、進めてほしい。朝読書をすることで、生徒が落ち着いてきて 1 日が静かに生活できる姿をみていたので、朝読書は大切だと思う。
委員	A L T が、小学校は 3 人で、中学校が 1 人は、瑞浪市全体をみてもらうには人数が少ないのではないか。
係長	中学校は、英語の免許を持ったものが進めているので、従来の形で進めていくことになると思うが、できれば、A L T の授業の日数が増えるといいと思います。
委員	ティームティーチングや少人数指導の充実、I C T の端末の活用とあるが、2 年度で新たに充実したこと、今まで通りなのか、進展があったのか教えてください。
係長	一番大きな変化は、2 年度末に小中学校 1 人 1 台端末が入り、これをいかに使っていくのかということ考えたことが、3 年度から始まっている。ティームティーチングや少人数指導については、今まで通りです。
委員	今後の取組の⑤で、特別支援学級の児童がタブレットを使いこなせる、5 年生が授業で使いこなせる姿を見てすごいと思ったが、1 人の時に活用できるのか等、デメ

	リットの部分も先生に聞いて資料集め、本当に子どもたちに有効に生きるように指導していただきたい。
評 価	委員会評価 B

施策 3	特別支援教育の充実
委員	学業支援員はどういう人がどういう仕事をしているか。
係長	各学校に学年ごとぐらいで、担当が決まっており、教室内で困っている子に個別で教えたり、説明したりする。
課長	今ぐらいの時期に各学校に要望を聞き、学校教育課の特別支援担当と学校教育課の職員が学校を訪問し、担任、子どもの実態をみて、必要に応じて、配置をしている。
委員	課題①②で、一層の支援体制整備とは具体的にどうすることですか。
係長	指導力の向上、必要に応じて人の確保もできるといい。
委員	学業支援員の増員の要望を毎年毎年委員会でも話をしているが、64%というのは、少ないのではないか。もっと支援員が学校では必要という数字になると思うので80%ぐらいまでに増やしていただきたい。
係長	数字は、64%だが、適正人員を配置している。
委員	特別支援教育担当が訪問をし、何をしているのか。
係長	授業をみて、支援の必要な子はどの子か、適切な支援は何か等学校と意見交換をしている。
委員	学業支援員の学校の希望人員48人を雇用する予算はあるのか。
係長	予算はありません。
委員	31人が適正として、31人なのか、35人が適正なのに31人なのか。
課長	勤務形態、予算も関係するが、他の対応を考えることもできるので、適正人員が配置されていると考えている。
委員	評価の書き方に問題があるのではないか。
係長	検討する。
評 価	委員会評価 B（評価をするのに、コロナを加味すべきかどうなのかを考える。）

施策 4	豊かな心の育成
委員	どの学校も心のアンケートをしているか。結果をみて、学校ごとに対応しているわけか。
係長	全学校行っている。いじめのアンケートも年に3回行っている。
委員	子どもたちのマスク使用は市全体で決まっているのか。
係長	ガイドラインで方向性はある。
委員	マスク着用の基準は。マスクを着用しっぱなしも大変と聞くのでどうなのか。
係長	体育で呼吸が苦しくなる場合は十分間隔をとってマスクを外している。国、県のガ

	イドラインに従っている。
課長	低学年は自分で判断が難しいので、担任や教師が指示をする。登下校も距離を取って外してもいいとなっている。
委員	教育支援センターの利用人数、学校に復帰できた人数を教えてください。
係長	令和2年度は8名通い、教育支援センターも来つつの子いるが、復帰が7名、令和3年度に1名復帰しました。
委員	不登校の人数は何人か。学校に行きたくないという子がいるとすぐに対応していただいていると感じている。
係長	今現在は、小学校 27人、中学校 30人です。
委員	教育相談コーディネーターとはどういう人か。
係長	学校内の教育相談のリーダーで先生です。
委員	課題③の教育相談コーディネーターと教育支援センターとの連携が全くできていません。とても重要な課題だと思う。 ケース会議にスクールカウンセラーを入れていただきたい。連携の体制ができてないと捉えている。
係長	対応を考える。
評価	委員会評価 C

施策5	健やかな体づくりと食育の推進
委員	その他の成果で、大きな事故なくとあるが、大きな事故とはどういう事故を想定しているか。
係長	車の交通事故、食中毒等と認識している。ここ数年はそういう報告はありません。
委員	コロナ禍での体力づくりはどのようなことを想定しているか。
係長	各学校でも体育でもできない種目があるので、できることとして基礎的体力をつけることをやっている。制限しながら、各学校で工夫しながら行っている。
委員	給食に対するアンケート（おいしいとか給食の感想）をしているか。
所長	連絡簿を毎日提出してもらっており、連絡簿の中で食べた感想とかも記入されている。
委員	プールなし、熱中症対策として外で体力づくりができないとあきらかに子どもたちの体力が落ちるができなかったから落ちたでいいのかと感じる。指標も今までと同じ状態でできた、できなかったと言っても仕方がないので、コロナ禍でどこまで見定めるとかの成果が評価できるといいし、中学校の部活もこれからどうなるかわからないが部活の在り方も考えてほしい。今後評価するのに、落ちた、下がっただけでなく、指標、見方を取り入れて検討いただきたい。
委員	1つの事業として給食は無償化になったのか。
所長	6月の2週目から学校が始まり、8月末まで家庭の経済対策として行いました。

委員	瑞浪ポーノポークを業者が寄附してくださったのか。
所長	ポーノポークは、ソーセージを製造された時に寄附してくださり、給食として提供した実績がある。その前にも肉を寄附いただいた実績がある。
委員	寄附してもいいのか。
所長	寄附者の名がどこかで紹介されるかは教育委員会での相談になると思うが、過去にも食材提供をいただいている。
委員	食物アレルギーの対応は。
所長	アレルギー食物を除去した給食の提供はしていない。アレルギーの広範囲であること、施設的に対応できる機能が整っていないこともあり、1カ月の詳細なメニュー表を作成し、希望をするアレルギーのある児童生徒の保護者に配布し、保護者の判断で給食を提供するか、弁当にするかどうかを判断していただいている。
委員	学校給食センターの大規模改修の計画は現状どうなっているのか。
所長	12月か1月に実施設計が完成し、令和5年度から3年かけて分割工事を行う予定です。金額は数億円かかる。夏休みしか稼働を止められないので、居ながら工事のため、分割工事になる予定。
評価	委員会評価 A

施策6	幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携の強化
委員	情報モラルの啓発で、具体的にはどういう指導をしているのか。
係長	ネット社会の中で、押してしまった結果、課金され、数万円支払いをすることになったということもあり、危険であることを、本人、保護者も含めて理解していただくように進めている。
委員	どういう方法で進めたか。
係長	書類での配布です。
委員	双方向のメールシステムとは何か。
係長	学校から、保護者へ送るのみだったが、保護者から学校へ欠席報告ができるようになった。処理能力には限度があるので、すべてを双方向とはいかないが、できる機能ができたという程度になる。小中学校はやっているの、今後、幼稚園でもできるようにするといっている。
評価	委員会評価 B

施策7	幼稚園・学校の職員の資質向上
委員	働き方改革の成果が出てきているということだが、実際の加重負担は減っているか。
係長	意識は高まり、優先順位をつけてやるようになっているので、学校での時間外勤務は減っている。慣れるまでには時間のかかる部分はあるが、ICTを使用すること

	で効率よく業務が進む見通しです。
委員	メンタルヘルスの対策は具体的にどういうことをやっているのか。
係長	年3回の管理職との面談の内容の中に健康状態はどうかを健康チェックで確認している。
課長	小中学校全部でメンタルチェックを行っている。その結果をもとに、市の健康相談につなげたりして対応している。
委員	辞めたいと言われる先生はないですか。
課長	不調を訴えて数日休まれることはあったが、学習指導員として、退職した校長先生に若手の指導をしていただいているので、令和2年度は教員の病休は0でした。
委員	時間外勤務に家に持って帰ったものは時間外ではないわけですね。 家庭訪問はどうなりますか。
係長	家に持ち帰った部分は時間外に入りません。家庭訪問は学校に帰ってこれば対象になる。
課長	自己申告制になる。本人が帰宅してからの業務はカウントしていない。外に業務に出て、学校に帰り、他の業務をする場合はカウントされる。
評価	委員会評価 B

施策8	学校環境等整備・充実
委員	Wi-Fi環境は、瑞浪市は家庭のどこへ持って行ってもタブレットを使える状況か。
係長	ネット環境で言えば地域によっては、まだ環境が整っていないです。すべての家庭がWi-Fiをつなげているわけではないので、調査をしましたが、インターネット環境が家がない場合もある。
委員	不易を大切にと教育長も言われたが、苦労して作成したものは、残る。子どもたちが学力をつけるのにどこまで使用するのか等タブレットの使用に当たっても慎重に取り組んでほしい。
係長	小学校1年生が鉛筆を持って書くことからスタートする。慎重に取り組みます。
課長	Wi-Fi環境がない児童生徒には公共施設や学校で利用してもらったりして個別の対応が必要と考えている。
委員	学校のトイレの洋式化で、体育館のトイレを利用することがある。便座に温め機能がないのが基準ですか。
係長	暖房便座までは設置していない。普通便座です。一部、多目的トイレ、特別指導教室の近くのトイレで洗浄便座になっているところもある。
委員	ICT支援員は現在設置されているか。
係長	2年度は1名から3年度は3名と2名増員されて助かっている。
評価	委員会評価 A

施策 9	中学校の統合
委員	スクールバスですが、月吉の生徒は、バスに乗れないが、何か意見は来てないか。
課長	月吉の方から統合準備委員会の時にご意見をいただき、最近、議会でも質問があった。準備委員会の決定として、統合によって、通学距離が変わる生徒についてスクールバスを利用することになった。北中では、釜戸中、日吉中のみ利用できることになっている。
委員	統合した後、地域にも協力的で、統合に対する否定するようなことは全くないが、統合後の生徒の様子をお知らせいただきたい。釜戸、日吉、陶の町の状態はどうなのかも知りたい。直接、保護者が学校の送迎をするということはないか。
係長	塾に行く等都合で保護者が迎えにくることはあるが、バスの利用者が少なく、保護者の送迎のほうが多いということは学校から聞いてはいない。課題になっているという認識をしていない。
委員	北中の駐車場が少ないことで旧瑞陵中の土地を駐車場として利用できないかと昨年の委員会でも意見があったと思うが今はどんな状況か。
係長	永久にずっと駐車場として利用できるわけではありませんが、今現在は利用できる状態になっている。
委員	<p>統合によるデメリットとして、バスの利用で生徒の体力が低下する、保護者に送迎されることがなくなり、親に感謝することがなくなる。バスの関係で朝部活がなくなる。当然体力が低下する。これに対する対応は何か考えているか。やはり次のことを考えていかないといけない。教師の時、伊自良の学校にいた時、校長先生がいつも言っていた。バス通学で、体力が落ちる、バスに乗るが当たり前、児童が運転手に感謝の言葉がないという話を聞いた。早めの対応を考えてほしい。</p> <p>教育相談で南中、北中を訪れ、比率でいうと、釜戸、明世地区の子が不登校になっている。陶も多い。親が勤めに行くので、家にいる。バス登校でなければ、遅刻しても自分の足で学校に行ける。小学校と連携し、何か対応を考えるといいと思う。</p>
委員	学校のことだけでなく、社会教育の視点も含めて、瑞浪市としてどうするのかを考えてほしい。
委員	北中の管理棟はどういう設備か。グラウンドで何かが起こった時、教員はどういう動きになるか。AEDの設置はどこか。
係長	<p>管理棟は、救護ができる管理室、トイレ男女、多目的トイレ、部活で使用する部室が4部屋、体育倉庫です。</p> <p>校舎の放送内容がグラウンド側にも流れる仕組みが構築されているが、電話設備は、改修前と同様、専用の携帯電話を使用して対応をする。体育の授業等、グラウンド使用時は、管理室にいないので、従前通り学校との打ち合わせで携帯電話での対応になっている。</p> <p>AEDは管理棟の側の外に設置されている。</p>



評 価	委員会の評価 A
委員長	本日は、ここまでとします。 第1回瑞浪市教育委員会点検評価委員会を閉会します。

～15：49